



## す ま い る



## 園小中箱根教育 合言葉「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

2月3日には、箱根神社の節分祭に伺わせて頂きました。事前に箱根神社と連絡を取り合い、園児の安全が図られるように「箱根幼稚園児専用」の特別なブースを設けて頂きました。怖がる年中・年少児に対して「大丈夫だよ。守ってあげるからね。」と声を掛けていた年長児ですが、迫力ある赤鬼・青鬼の登場に後ずさりしていた姿が微笑ましかったです。桃弓と葦矢、金時が打ち豆で鬼退治をし鬼が逃げていく姿を見届け、福豆やお土産を頂き安心して園に向かう途中に、またまた鬼の姿を発見。青山麦歩さんの家の近くでしたので、「弟のかいり君が食べられていないか」みんなで心配する姿もありました。可愛らしい鬼に変装した國學院大學の水上スキー部の皆さんの姿を見て、「自分もやってみたい」と思った子どももいました。

節分とは文字通り季節の分かれ目。節分に使う豆まきは、季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式です。宮中で行われていた「追儺」という鬼払いの儀式が広まったものだそうです。そんな貴重な儀式を近くで見せて頂き、コロナ禍で様々な規制がある中でも安全に経験ができるようにご配慮いただいた箱根神社の方や地域の方々に感謝申し上げます。

そして、この日の昼食は、「恵方巻」。「七福神」をイメージした7種類の具の巻きずしを神様のいる恵方の方向（今年は北北西）を向いて運を逃さないように黙って食べる。という話を担任から聞いた年長児は、そのことをみんなに伝えていました。今年度は、箱根教育の「箱根を愛し」という観点から地域の歴史や文化に親しむことを目的に「七福神」巡りをしてきた子ども達ですから、この話も心に響いたようで、それを聞いた年少児も自然と「黙食」になっていました。「立春」を迎えたとはいえ、まだまだ寒さが厳しいです。しかし、「立春」を「光の春」とも言うようで、確かに園庭に出ると太陽の光の温かさを感じるようになってきました。温かい春を迎える頃は、安心して日常生活が送れるようになることを祈るばかりです。



## 楽しいね、雪遊び！

今年は、雪が多いのでしょうか？2/10と14日に雪が降り、10日は天気予報から登降園時の安全を考え休園にさせて頂きました。14日の雪は明け方には止み、スノーウェアを持って登園した子ども達は、園庭に広がる雪を見て、朝の身支度をあつという間に済ませ、外へと飛び出していきました。まだ、誰も足を踏み入っていない雪の上を歩くことの気持ち良さ。雪山の上からそりで何度も滑りながら、オリンピックで見た映像を思い出し、「トリプルコーク1440！」などと声をあげながら楽しんでいました。もう一つの雪山は、穴を掘ってかまくらづくり。中に入って「ここでお弁当食べたいな。」という子ども達。大人にとっては、憂鬱な雪も子ども達にとっては、貴重な体験になりました。どこにも行かずに、こんな体験できるなんて贅沢ですね！



## 引き続きコロナ感染予防に努めましょう

- ・オミクロン株の子どもへの感染が広がり、休園になっている市町村も増えています。子ども達は、手洗いや消毒、検温、マスクの着用と出来ることを頑張っています。楽しみにしていた他園や小学校との交流などが延期になり残念ですが「あともう少し」と信じて、引き続きの感染予防にご協力ください。
  - ・園児の健康観察と共に家族の方の検温や健康チェックをお願いいたします。咳や鼻水、発熱など風邪症状とオミクロン株の症状の区別がつきにくい場合、同じような症状が出た場合は、家庭で療養いただき、配布してあります抗原キットを利用し、お医者様の診断を仰ぐようお願い致します。
  - ・延期や中止になった行事
- ☆5歳児交流 1/26⇒3/10 (※湯本幼児学園 星槎大学 箱根キャンパス)
- ☆新就学児保護者懇談会 2/10⇒3/3
- ・5年生との交流 2/15⇒未定
- ☆はつらつ町民健康教室は中止になりました。